

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 株式会社 バルクホールディングス

上場取引所 名

コード番号 2467 URL <http://www.vlcholdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村松 澄夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 笠原 誠

TEL 03-5649-2500

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	626	△25.3	△90	—	△90	—	△95	—
21年3月期第3四半期	838	—	△142	—	△124	—	△274	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2,758.40	—
21年3月期第3四半期	△7,886.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	462	283	61.4	8,159.67
21年3月期	574	379	66.1	10,918.08

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 283百万円 21年3月期 379百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,114	2.8	△88	—	△83	—	△90	—	△2,605.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 34,800株 21年3月期 34,800株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 34,800株 21年3月期第3四半期 34,800株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・当社は、平成20年12月24日付で株式会社ベル・マーケティング・サービス(連結子会社)の全株式を譲渡しております。これにより、平成22年3月期第3四半期(平成21年4月1日～平成21年12月31日)の連結経営成績の進捗状況、連結財政状態の変動状況、連結キャッシュ・フローの状況及び平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の連結業績予想は株式会社ベル・マーケティング・サービスを除いた数値となっておりますので、ご留意下さい。

(参考)前第3四半期累計期間の株式会社ベル・マーケティング・サービスの実績

売上高180百万円、営業利益24百万円、経常利益24百万円、四半期純利益19百万円

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気対策により一部に持ち直しの兆しが見られたものの、実体経済は依然として厳しい状況が続いております。また、雇用情勢の不安による個人消費の低迷等、引き続き景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

このような経営環境におきまして、当社グループでは新たなサービスの提供を開始し、顧客のニーズを捉えた営業活動を展開するとともに固定費の削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は626,424千円（前年同四半期比25.3%減）、営業損失90,389千円（前年同四半期損失142,526千円）、経常損失90,687千円（前年同四半期損失124,022千円）、四半期純損失95,992千円（前年同四半期損失274,465千円）となりました。

※平成20年12月24日付で株式会社ベル・マーケティング・サービス（連結子会社）の全株式を譲渡しております。これにより、当第3四半期累計期間の連結経営成績は株式会社ベル・マーケティング・サービスを除いた数値となっておりますので、ご留意下さい。

（参考）前第3四半期累計期間の株式会社ベル・マーケティング・サービスの実績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	千円	千円	千円	千円
前第3四半期累計期間	180,669	24,066	24,332	19,812

なお、セグメント別の状況は次のとおりであります。

（コンサルティング事業）

情報セキュリティコンサルティング分野は、引き続き営業活動の強化を図ったことで受注率は向上したものの、景気の不透明感から顧客企業の設備投資に対する姿勢がより一層慎重になるとともに、受注単価が低下する傾向にあり、計画を下回る売上高となりました。

事業戦略コンサルティング分野は、中国市場進出に関する調査およびコンサルティングのサービスを新たに開始し、問合せ件数が増えてきましたが、顧客企業の設備投資に対する慎重さの影響から受注までに期間を要しており、計画を下回る売上高となりました。

経営革新システムコンサルティング分野は、ホームページ等によるプロモーション活動の見直しを実施したことで問合せ件数が増えてきましたが、顧客企業のIT投資の削減や先送りの影響もあり、計画を下回る売上高となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は134,018千円（前年同四半期比42.7%減）、営業損失は26,283千円（前年同四半期損失7,991千円）となりました。

（マーケティングリサーチ事業）

例年は下半期にリサーチ案件が増加する傾向にありましたが、顧客企業の収益減少や景気の不透明感から国内企業および海外企業での下半期のリサーチ費用がさらに抑制される傾向となり、計画を下回る売上高となりました。

データベースのコンテンツ事業および図書館支援事業を手掛ける日本データベース開発㈱は、組織体制の見直しを行い、営業活動をより効果的に進める体制を築いたことがリポート案件と新規案件の受注に繋がっており、計画を上回る売上高となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は492,405千円（前年同四半期比18.6%減）、営業利益41,606千円（前年同四半期比71.4%増）となりました。

※平成20年12月24日付で株式会社ベル・マーケティング・サービス（連結子会社）の全株式を譲渡しております。これにより、当第3四半期累計期間のマーケティングリサーチ事業の連結経営成績は株式会社ベル・マーケティング・サービスを除いた数値となっておりますので、ご留意下さい。

（参考）前第3四半期累計期間の株式会社ベル・マーケティング・サービスの実績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	千円	千円	千円	千円
前第3四半期累計期間	180,669	24,066	24,332	19,812

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて104,557千円減少し、380,967千円となりました。これは、現金及び預金が86,498千円、受取手形及び売掛金が27,384千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7,299千円減少し、80,988千円となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が12,660千円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21,845千円減少し、124,243千円となりました。これは、買掛金が12,066千円、未払法人税等が9,376千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5,685千円増加し、54,641千円となりました。これは、長期借入金が2,601千円、退職給付引当金が3,084千円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて95,992千円減少し、283,956千円となりました。これは、利益剰余金が95,992千円減少したことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点においては平成21年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において208,828千円の営業損失および180,921千円のマイナスの営業活動によるキャッシュ・フローを計上し、2期連続の営業損失およびマイナスの営業活動によるキャッシュ・フローとなり、また、当第3四半期連結累計期間におきましても90,389千円の営業損失および85,273千円のマイナスのキャッシュ・フローを計上しており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象が存在しております。

当社グループに係る財務の健全性に悪影響を及ぼしている要因として、前々連結会計年度、前連結会計年度および当第3四半期連結累計期間に計上した営業損失があげられますが、これは情報セキュリティコンサルティングおよび内部統制コンサルティングの分野において販売計画が未達であったことなどによるものであります。

なお、当社グループは、当該営業活動によるキャッシュ・フローの減少を最小限に抑えるべく、以下の施策を実施してまいります。

a. 既存事業の強化

情報セキュリティコンサルティング事業およびマーケティングリサーチ事業を手掛ける株式会社バルク(連結子会社)の役員および組織体制の変更を行い、新体制の下、新商品開発の検討・営業力の強化・シナジー効果が期待できる企業との業務提携を進めております。

図書館支援事業およびコンテンツ事業を手掛ける日本データベース開発株式会社(連結子会社)につきましては、現在、図書館支援事業が好調なこともあり、受注の安定化を図りつつ、コンテンツ事業の拡大を進めております。

事業戦略策定コンサルティングを手掛ける株式会社アトラス・コンサルティング(連結子会社)につきましては、国内に特化したマーケティングリサーチを活かした事業戦略を行ってまいりましたが、着眼点を海外に向け、海外進出を図る企業に向けた新商品開発を行っております。

b. 事業経費の削減

事業規模に見合った固定費および適正な人員構成とするために、本社事務所の移転による賃料削減、役員報酬の削減、従業員の成果主義を徹底した報酬体系への見直し等により固定費の圧縮に取り組み、また、原価費用の内製化を進めて収益率の向上に取り組んでまいります。

以上の施策により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	90,886	177,384
受取手形及び売掛金	96,088	123,473
有価証券	153,757	153,654
商品及び製品	10,746	—
仕掛品	12,088	9,276
原材料及び貯蔵品	1,370	666
その他	19,190	23,990
貸倒引当金	△3,161	△2,920
流動資産合計	380,967	485,524
固定資産		
有形固定資産	2,649	3,258
無形固定資産		
ソフトウェア	21,259	17,523
ソフトウェア仮勘定	—	12,660
その他	3,606	1,147
無形固定資産合計	24,865	31,331
投資その他の資産		
敷金及び保証金	47,462	—
その他	11,955	58,697
貸倒引当金	△5,944	△5,000
投資その他の資産合計	53,473	53,697
固定資産合計	80,988	88,287
繰延資産	885	1,181
資産合計	462,841	574,993
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,749	22,816
1年内返済予定の長期借入金	4,440	3,996
未払法人税等	2,060	11,436
ポイント引当金	34,005	38,691
賞与引当金	2,387	3,319
その他	70,600	65,829
流動負債合計	124,243	146,089
固定負債		
長期借入金	32,690	30,089
退職給付引当金	18,243	15,158
その他	3,708	3,708
固定負債合計	54,641	48,955
負債合計	178,884	195,044
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	514,451	514,451
資本剰余金	459,310	459,310
利益剰余金	△689,804	△593,812
株主資本合計	283,956	379,949
純資産合計	283,956	379,949
負債純資産合計	462,841	574,993

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	838,665	626,424
売上原価	514,099	387,752
売上総利益	324,565	238,672
販売費及び一般管理費	467,091	329,061
営業損失(△)	△142,526	△90,389
営業外収益		
受取利息	1,242	170
有価証券売却益	14	—
役員保険解約益	10,786	—
雑収入	8,661	847
営業外収益合計	20,704	1,018
営業外費用		
支払利息	505	614
雑損失	—	213
その他	1,695	488
営業外費用合計	2,201	1,316
経常損失(△)	△124,022	△90,687
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,801	—
役員退職慰労引当金戻入額	51,584	—
特別利益合計	56,385	—
特別損失		
固定資産除却損	2,861	—
債務保証損失	100,102	—
子会社株式売却損	76,309	—
特別損失合計	179,273	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△246,910	△90,687
法人税、住民税及び事業税	12,815	4,253
法人税等調整額	14,738	1,050
法人税等合計	27,554	5,304
四半期純損失(△)	△274,465	△95,992

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△246,910	△90,687
減価償却費	26,673	10,363
のれん償却額	2,407	41
役員保険解約益	△10,786	—
債務保証損失	100,102	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△44,275	1,185
ポイント引当金の増減額（△は減少）	18,295	△4,686
退職給付引当金の増減額（△は減少）	710	3,084
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,598	△931
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△51,584	—
受取利息及び受取配当金	△1,242	△170
為替差損益（△は益）	△401	△14
支払利息	505	614
子会社株式売却損益（△は益）	76,309	—
固定資産除却損	2,861	—
売上債権の増減額（△は増加）	39,757	27,384
たな卸資産の増減額（△は増加）	△11,713	△14,261
未収入金の増減額（△は増加）	325	496
長期未収入金の増減額（△は増加）	47,698	△944
未収消費税等の増減額（△は増加）	42,037	8,266
仕入債務の増減額（△は減少）	△17,077	△12,066
未払消費税等の増減額（△は減少）	3,600	6,346
未払費用の増減額（△は減少）	△14,556	7,022
その他	△40,496	△11,470
小計	△80,358	△70,429
利息及び配当金の受取額	1,644	185
利息の支払額	△505	△614
債務保証履行による支出	△100,102	—
法人税等の支払額	△13,050	△14,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	△192,373	△85,273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△3,475	△830
投資有価証券の取得による支出	△30	—
投資有価証券の売却による収入	4,200	—
子会社株式の取得による支出	—	△2,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△34,676	—
貸付けによる支出	△5,500	△500
貸付金の回収による収入	1,350	—
敷金及び保証金の回収による収入	3,237	—
役員保険解約による収入	10,786	—
その他	△1,655	△336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,762	△4,166
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入れによる収入	20,083	10,000
長期借入金の返済による支出	△1,524	△6,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,441	3,045
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△249,576	△86,394
現金及び現金同等物の期首残高	521,816	331,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	272,239	244,643

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	コンサルティング 事業 (千円)	マーケティング リサーチ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	233,976	604,688	838,665	—	838,665
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	4,715	8,915	(8,915)	—
計	238,176	609,403	847,580	(8,915)	838,665
営業利益又は 営業損失(△)	△7,991	24,281	16,289	(158,815)	△142,526

(注) 1 事業区分の方法

事業は役務の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な役務

コンサルティング事業…………… プライバシーマーク認定取得コンサルティング、ISO27001認証取得コンサルティング、内部統制構築支援、事業戦略コンサルティング、ジェネクス事業

マーケティングリサーチ事業…………… 各種マーケティングリサーチ、ユーザーニーズ調査、データベース開発事業等

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	コンサルティング 事業 (千円)	マーケティング リサーチ事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	134,018	492,405	626,424	—	626,424
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,200	4,200	(4,200)	—
計	134,018	496,605	630,624	(4,200)	626,424
営業利益又は 営業損失(△)	△26,283	41,606	15,322	(105,712)	△90,389

(注) 1 事業区分の方法

事業は役務の種類及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な役務

コンサルティング事業…………… プライバシーマーク認定取得コンサルティング、ISO27001認証取得コンサルティング、内部統制構築支援、事業戦略コンサルティング、経営革新システムコンサルティング

マーケティングリサーチ事業…………… 各種マーケティングリサーチ、ユーザーニーズ調査、データベース開発事業等

2 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。